

# 第80回国民体育大会青森県準備委員会 第3回総会別冊資料

## 目 次

1	第80回国民体育大会青森県準備委員会常任委員会決定事項	
(1)	第78回～第81回国民体育大会における隔年実施競技の実施順序決定に伴う 第80回国民体育大会会場地市町村第一次選定の一部内定取消	P. 1
(2)	第80回国民体育大会会場地市町村第二次選定	P. 2
(3)	第80回国民体育大会競技運営基本方針	P. 3
(4)	第80回国民体育大会競技用具整備基本方針	P. 4
(5)	第80回国民体育大会審判員・要資格運営員養成計画	P. 5
(6)	第80回国民体育大会公開競技実施基本方針	P. 9
(7)	第80回国民体育大会デモンストレーションスポーツ実施基本方針	P.11
(8)	第80回国民体育大会広報基本方針	P.13
(9)	第80回国民体育大会広報基本計画	P.14
(10)	第80回国民体育大会マスコットキャラクター	P.16
(11)	第80回国民体育大会会場地市町村第三次選定	P.17
(12)	第80回国民体育大会開催基本構想（素案）	P.18
2	第80回国民体育大会会場地市町村選定状況	P.29
3	第80回国民体育大会青森県準備委員会組織構成図	P.33
4	第80回国民体育大会青森県準備委員会専門委員会名簿	P.34
5	第80回国民体育大会青森県準備委員会会則	P.36
6	第80回国民体育大会青森県準備委員会委員等名簿	P.40



第78回～第81回国民体育大会における隔年実施競技の実施  
順序決定に伴う第80回国民体育大会会場地市町村第一次選定  
の一部内定取消

第80回国民体育大会会場地市町村第一次選定（平成29年4月19日第2回  
常任委員会決定）のうち、次の競技の内定を取り消す。

市町村名	競技・種目名	種別	開催予定施設
青森市	ボクシング	全種別	青森産業会館

理由：平成29年6月16日に開催された平成29年度第1回国民体育大会委  
員会において、第78回～第81回国民体育大会における隔年実施競技（ボ  
クシング、クレー射撃）の実施順序が決定し、青森県で開催する第80回国  
民体育大会では、クレー射撃を実施することとなったため。

## 第80回国民体育大会会場地市町村第二次選定

### 【市町村別】

No	市町村名	競技・種目名		種別	開催予定施設
1	青森市	軟式野球		成年男子	青森県営野球場 青森市営野球場
		ライフル射撃	C P	成年男子	青森県警察学校射撃場
		スポーツクラ イミング	リード	全種別	盛運輸アリーナ
			ボルダリング	全種別	
2	弘前市	クレール射撃		全種別	弘前クレール射撃場
3	三沢市	軟式野球		成年男子	三沢市民運動広場野球場
		銃剣道		全種別	三沢市国際交流スポーツセンター
4	むつ市	ボート		全種別	むつ市大湊特設ボート場
		セーリング		全種別	大平マリーナ
5	六戸町	軟式野球		成年男子	六戸町総合運動公園野球場

### 【競技別】

No	競技・種目名		種別	市町村名	開催予定施設
1	ボート		全種別	むつ市	むつ市大湊特設ボート場
2	セーリング		全種別	むつ市	大平マリーナ
3	軟式野球		成年男子	青森市	青森県営野球場 青森市営野球場
				三沢市	三沢市民運動広場野球場
				六戸町	六戸町総合運動公園野球場
4	ライフル射撃	C P	成年男子	青森市	青森県警察学校射撃場
5	銃剣道		全種別	三沢市	三沢市国際交流スポーツセンター
6	クレール射撃		全種別	弘前市	弘前クレール射撃場
7	スポーツクラ イミング	リード	全種別	青森市	盛運輸アリーナ
		ボルダリング	全種別		

### (留意事項)

開催予定施設は、競技が開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体視察の結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

## 第80回国民体育大会競技運営基本方針

第80回国民体育大会の競技運営は、公益財団法人日本体育協会（以下「日体協」という。）の定める国民体育大会開催基準要項及び同細則並びに第80回国民体育大会開催基本方針に基づくとともに、次の方針により実施する。

- 1 正式競技、公開競技及び特別競技の運営は、日体協加盟の各競技団体及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が主管する。また、デモンストレーションスポーツの運営は、県競技団体等が主管する。
- 2 正式競技及び特別競技の競技役員等の編成は、日体協の定める「国民体育大会各競技会開催にあたる競技役員編成基準」及び「第80回国民体育大会競技役員等編成基本方針」に基づき行うものとする。
- 3 競技用具は、第80回国民体育大会競技用具整備基本方針に基づき競技運営に支障がないよう県及び会場市町村において計画的に整備する。
- 4 競技記録及び成績の収集・速報は、県及び会場市町村が競技団体と連携を図り、迅速かつ正確に処理する。
- 5 競技会の運営能力の向上を図るためにリハーサル大会を実施する場合は、会場市町村と競技団体が協力して、運営全般にわたって習熟を図るとともに、県民の第80回国民体育大会及び各種競技に対する関心を高め、理解を深めるよう努めるものとする。
- 6 その他、競技運営の諸企画及び実施に当たっては、競技団体及び関係機関と十分な連携を図り、適切に行うものとする。

## 第80回国民体育大会競技用具整備基本方針

第80回国民体育大会（以下「大会」という。）の競技運営に要する器具・用具（以下「競技用具」という。）については、競技運営に万全を期するとともに、本県スポーツの普及・推進に資するため、次の方針に基づき計画的に整備する。

- 1 競技用具の整備に当たっては、「第80回国民体育大会県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針」及び「同細目」並びに別に定める「競技用具整備計画」に基づくものとする。
- 2 競技用具の整備に当たっては、県と会場地市町村が十分協議するとともに、県競技団体、公益財団法人日本体育協会及び中央競技団体と連携の上、推進するものとする。
- 3 競技用具は、原則として県及び会場地市町村並びに県競技団体等が現有するものを活用することとし、現有の競技用具で不足するものについては借用し、借用困難な場合についてのみ購入するものとする。
- 4 一般の利活用が見込めない競技用具や通常の競技会運営に必要な競技用具の量、質を超えて整備しなければならないものについては、別に定める。
- 5 購入する競技用具の保管及び大会終了後の利活用等については、県及び会場地市町村がそれぞれの責任において行うものとする。

## 第80回国民体育大会審判員・要資格運営員養成計画

### 1 趣旨

第80回国民体育大会の各競技会の円滑な運営と本県及び地域スポーツの一層の普及・振興を目的に、審判員及び要資格運営員の資格取得、資格維持及び資質向上を図るため、審判員・要資格運営員養成計画を作成し、計画的かつ円滑に事業を推進する。

### 2 基本的事項

下記に基づいて第80回国民体育大会審判員・要資格運営員養成計画を作成する。

- (1) 国民体育大会各競技開催にあたる競技役員編成基準 [(公財) 日本体育協会]
- (2) 第80回国民体育大会競技役員等編成基本方針
- (3) 第80回国民体育大会競技役員等養成基本方針
- (4) 第80回国民体育大会競技役員等養成基本計画
- (5) 競技団体役員数の現状

### 3 養成目標数

審判員及び要資格運営員の養成目標数 951人 (別表〈1〉)

### 4 養成年次計画

各競技団体が養成年次計画を作成して養成する。(別表〈2・3〉)

### 5 養成方法

中央講習会等への派遣及び県内講習会の開催等により養成する。

### 6 その他

毎年各競技団体の養成状況を確認し、適宜計画を見直すこととする。

第80回国民体育大会審判員・要資格運営員養成目標数

No.	内訳 競技名	競技 役員数	資格が必要な競技役員数			県外からの派遣数			県内 必要数 ⑦= ③-⑥	開催時 従事 見込数 ⑧	不足数 ⑨= ⑦-⑧	養成 目標数
			審判員 ①	要資格 運営員 ②	計 ③= ①+②	中央 ④	近県 ⑤	計 ⑥= ④+⑤				
1	陸上競技	427	310	0	310	16	0	16	294	294	0	0
2	水泳	390	58	207	265	48	70	118	147	74	73	96
3	サッカー	427	88	33	121	63	28	91	30	7	23	30
4	テニス	76	60	13	73	0	0	0	73	3	70	92
5	ボート	120	33	34	67	17	15	32	35	34	1	2
6	ホッケー	91	20	14	34	30	0	30	4	0	4	6
7	パレーボール	249	64	0	64	4	15	19	45	26	19	26
8	体操	364	89	18	107	55	21	76	31	18	13	18
9	バスケットボール	278	101	21	122	32	35	67	55	52	3	4
10	レスリング	183	36	14	50	36	10	46	4	0	4	6
11	セーリング	220	24	85	109	31	61	92	17	2	15	21
12	ウエイトリフティング	116	27	0	27	3	12	15	12	5	7	10
13	ハンドボール	181	39	0	39	39	0	39	0	0	0	0
14	自転車	211	152	14	166	59	39	98	68	57	11	15
15	ソフトテニス	182	96	0	96	2	25	27	69	58	11	15
16	卓球	192	96	0	96	19	11	30	66	60	6	8
17	軟式野球	256	64	0	64	4	5	9	55	36	19	25
18	相撲	169	60	0	60	7	8	15	45	22	23	30
19	馬術	111	41	15	56	30	18	48	8	4	4	6
20	フェンシング	76	25	0	25	14	0	14	11	0	11	15
21	柔道	127	31	37	68	33	0	33	35	33	2	3
22	ソフトボール	372	80	49	129	16	24	40	89	39	50	66
23	バドミントン	307	212	0	212	11	10	21	191	123	68	89
24	弓道	148	27	29	56	1	23	24	32	32	0	0
25	ライフル射撃	139	28	48	76	28	48	76	0	0	0	0
26	剣道	113	27	0	27	27	0	27	0	0	0	0
27	ラグビーフットボール	117	40	0	40	3	10	13	27	11	16	21
28	スポーツクライミング	113	23	86	109	20	4	24	98	5	93	122
29	カヌー	248	165	0	165	37	80	117	48	14	34	46
30	アーチェリー	89	31	14	45	5	29	34	11	0	11	15
31	空手道	188	43	0	43	33	5	38	5	1	4	6
32	銃剣道	99	27	38	65	14	2	16	49	1	48	63
33	クレー射撃	100	34	18	52	15	0	15	37	12	25	33
34	なぎなた	112	21	0	21	21	0	21	0	0	0	0
35	ボウリング	148	38	10	48	3	0	3	45	34	11	15
36	ゴルフ	162	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	トライアスロン	122	84	0	84	6	35	41	43	8	35	47
38	高校野球	144	35	0	35	0	0	0	35	35	0	0
合 計		7,167	2,429	797	3,226	782	643	1,425	1,814	1,100	714	951

第80回国民体育大会審判員・要資格運営員養成年次計画  
【資格取得】

No.	内訳 競技名	養成(資格取得)年次計画									延養成数
		H29 (8年前)	H30 (7年前)	H31 (6年前)	H32 (5年前)	H33 (4年前)	H34 (3年前)	H35 (2年前)	H36 (1年前)	H37 (開催年)	
1	陸上競技	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	水泳	0	12	12	12	20	20	20	12	0	108
3	サッカー	3	3	4	4	5	5	5	1	0	30
4	テニス	0	15	19	19	19	19	18	2	0	111
5	ボート	0	0	0	2	2	0	0	0	0	4
6	ホッケー	0	0	0	2	2	0	0	0	2	6
7	バレーボール	3	3	6	3	6	4	7	4	0	36
8	体操	4	9	10	9	6	7	4	3	0	52
9	バスケットボール	0	0	0	2	2	2	2	0	0	8
10	レスリング	0	1	0	2	0	2	0	1	0	6
11	セーリング	0	3	3	6	9	7	3	0	0	31
12	ウエイトリフティング	0	0	0	2	2	2	2	2	0	10
13	ハンドボール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	自転車	1	0	3	4	4	3	3	0	0	18
15	ソフトテニス	2	2	2	2	2	2	2	1	0	15
16	卓球	0	4	6	2	0	0	0	0	0	12
17	軟式野球	0	7	5	5	5	5	0	0	0	27
18	相撲	5	5	5	11	11	11	6	6	0	60
19	馬術	0	0	2	2	0	2	0	0	0	6
20	フェンシング	2	2	2	2	2	2	2	1	0	15
21	柔道	0	1	1	2	1	1	0	0	0	6
22	ソフトボール	7	5	16	17	11	11	11	11	0	89
23	バドミントン	12	12	12	28	27	27	15	5	0	138
24	弓道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	ライフル射撃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	ラグビーフットボール	2	2	3	3	3	3	3	2	0	21
28	スポーツクライミング	3	3	4	40	39	20	17	0	0	126
29	カヌー	0	6	9	14	12	11	2	2	0	56
30	アーチェリー	0	0	5	5	5	0	0	3	0	18
31	空手道	0	1	1	1	1	1	1	0	0	6
32	銃剣道	20	0	12	20	0	12	23	0	0	87
33	クレール射撃	0	6	9	9	8	8	5	0	0	45
34	なぎなた	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	ボウリング	34	3	3	3	6	3	1	0	0	53
36	ゴルフ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	トライアスロン	7	7	15	9	15	7	12	0	0	72
38	高校野球	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		105	112	169	242	225	197	164	56	2	1,272

第80回国民体育大会審判員・要資格運営員養成年次計画  
【資格維持・資質向上】

No.	内訳 競技名	養成(資格維持・資質向上)年次計画									計
		H29 (8年前)	H30 (7年前)	H31 (6年前)	H32 (5年前)	H33 (4年前)	H34 (3年前)	H35 (2年前)	H36 (1年前)	H37 (開催年)	
1	陸上競技	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	水泳	74	74	86	98	107	124	141	158	170	1,032
3	サッカー	7	10	13	17	21	26	31	36	37	198
4	テニス	3	3	14	29	44	59	75	93	95	415
5	ボート	35	35	35	35	35	37	37	37	37	323
6	ホッケー	0	0	0	0	2	4	4	4	4	18
7	バレーボール	25	28	28	34	34	40	41	48	52	330
8	体操	18	17	20	23	28	29	32	33	36	236
9	バスケットボール	52	52	52	52	53	54	55	56	56	482
10	レスリング	6	5	6	4	6	4	6	5	6	48
11	セーリング	2	3	5	8	9	15	19	22	22	105
12	ウエイトリフティング	15	15	15	13	13	13	13	13	15	125
13	ハンドボール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	自転車	71	72	69	68	68	69	69	72	72	630
15	ソフトテニス	71	71	71	71	71	71	71	72	73	642
16	卓球	68	64	62	66	68	68	68	68	68	600
17	軟式野球	59	54	56	56	56	56	61	61	61	520
18	相撲	22	27	32	31	36	41	46	46	52	333
19	馬術	0	4	0	0	4	2	2	4	2	18
20	フェンシング	0	2	4	6	8	10	12	14	15	71
21	柔道	33	33	34	34	35	35	36	36	36	312
22	ソフトボール	82	89	83	88	94	94	94	94	105	823
23	バドミントン	122	135	146	142	156	167	191	207	211	1,477
24	弓道	32	32	32	32	32	32	32	32	32	288
25	ライフル射撃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	ラグビーフットボール	11	13	15	18	21	24	27	30	32	191
28	スポーツクライミング	5	8	10	13	52	90	110	127	127	542
29	カヌー	10	14	20	23	32	41	52	47	56	295
30	アーチェリー	15	15	10	10	10	15	15	12	15	117
31	空手道	7	7	7	7	7	7	7	8	8	65
32	銃剣道	2	22	10	22	42	42	42	65	65	312
33	クレー射撃	12	12	15	21	28	34	40	45	45	252
34	なぎなた	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	ボウリング	29	60	63	60	60	63	65	66	66	532
36	ゴルフ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	トライアスロン	8	15	14	27	28	43	43	55	55	288
38	高校野球	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		896	991	1,027	1,108	1,260	1,409	1,537	1,666	1,726	11,620

## 第80回国民体育大会公開競技実施基本方針

第80回国民体育大会において実施する公開競技は、公益財団法人日本体育協会の定める国民体育大会開催基準要項及び同細則、国民体育大会公開競技実施基準並びに第80回国民体育大会開催基本方針に基づき、次の方針により実施する。

### 1 実施目的

- (1) 国体を契機として、競技の普及及びスポーツの振興を図り、生涯スポーツの実現を推進する。
- (2) 県民が多くのスポーツに触れ合う機会を増やすことにより、健康・体力の保持増進、競技力の向上が図られ、併せて多くの人達との新たな交流により地域が活性化するなど「スポーツが盛んな青森県」の実現を目指す。

### 2 実施競技の選択

実施競技は、第80回国民体育大会実施予定競技選択基本方針に基づき、次の事項について総合的に検討し、綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビックの7競技から選択する。

- (1) 競技を実施することにより、国体終了後においても、県内での当該競技の普及・振興が推進されること。
- (2) 当該県競技団体の組織が整備されており、競技運営能力があること。
- (3) 当該中央・県競技団体の開催意欲とともに、市町村の開催希望があること。

### 3 会場地市町村の選定

会場地は、第80回国民体育大会会場地市町村選定基本方針に基づき、次の事項について総合的に検討し、選定する。

- (1) 市町村と競技団体の意向が合致すること。
- (2) 実施する公開競技の普及・振興を推進する市町村であること。
- (3) 実施する公開競技の開催に必要な競技施設を有する市町村であること。

### 4 実施方法、実施時期及び期間

- (1) 実施方法及びその他の必要な事項は別に定める。
- (2) 実施時期は平成37年4月1日から閉会までの期間とする。ただし、総合開・閉会式当日は除くものとする。
- (3) 実施期間は、4日間を上限とする。

## 5 業務分担及び経費負担

- (1) 競技会の準備及び開催運営に係る業務は、当該中央競技団体が主導で行うものとし、その経費については、当該中央競技団体の負担とする。
- (2) 参加料、参加者旅費等、当該競技会参加に関する経費については、原則として競技会参加者の自己負担とする。

## 第80回国民体育大会デモンストレーションスポーツ実施基本方針

第80回国民体育大会において実施するデモンストレーションスポーツ（以下「デモスポ」という。）は、公益財団法人日本体育協会の定める国民体育大会開催基準要項及び同細則、国民体育大会デモンストレーションスポーツ実施基準並びに第80回国民体育大会開催基本方針に基づき、次の方針により実施する。

### 1 実施目的

- (1) デモスポの実施により、県民の国体への参加機会をより多く設けるとともに、県内各地で地域住民がスポーツに取り組む習慣が身につく、スポーツが地域に定着する大会を目指す。
- (2) デモスポを通じて、地域スポーツの普及・推進を図り、健康・体力の保持増進及び、各地域が元気で活力に満ちた姿になることを目指す。
- (3) デモスポへの参加を通じて世代間や地域間の交流の輪を広げ活力ある地域づくりを目指す。

### 2 実施競技の選択

実施競技は、第80回国民体育大会実施予定競技選択基本方針に基づき、次の事項について総合的に検討し、選択する。

- (1) 正式競技、特別競技及び公開競技以外の競技で、公益財団法人青森県体育協会に加盟、又は推薦する競技・レクリエーションであること。
- (2) 広く県民に普及していること、又は普及する見込みがあること。
- (3) 競技団体の組織が整備されており、大会運営能力があること。
- (4) 原則として、既存施設での開催が可能であること。
- (5) 市町村及び競技団体の開催希望があること。

### 3 会場地市町村の選定

会場地は、第80回国民体育大会会場地市町村選定基本方針に基づき、次の事項について総合的に検討し、選定する。

- (1) 実施するデモスポの普及・振興を推進する市町村であること。
- (2) 実施するデモスポの開催に必要な競技施設を有する市町村であること。

#### 4 実施方法、実施時期及び期間

- (1) 実施方法及びその他の必要な事項は別に定める。
- (2) 実施時期は、平成37年4月1日から閉会までの期間とする。ただし、総合開・閉会式当日は除くものとする。
- (3) 実施期間は原則として1日とする。

#### 5 業務分担及び経費負担

業務分担及び経費負担は第80回国民体育大会県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針の定めるところによる。

## 第80回国民体育大会広報基本方針

第80回国民体育大会（以下「大会」という。）の広報活動は、第80回国民体育大会開催基本方針に基づき、開催意義を広く周知し、その理解を深めることにより、大会への参加意識の高揚を図り、県民の積極的な参加を実現するとともに、大会開催と青森の魅力を全国に発信するため、次のとおり実施する。

- 1 県・市町村、関係機関・団体、企業、NPO、ボランティア団体、本県ゆかりのアスリート等との緊密な連携と協力のもとに、各種の広報媒体を計画的かつ効果的に活用し、大会の積極的な広報に努める。
- 2 報道機関との連携や多様なメディアの活用により、大会に関する情報を迅速かつ広域的に伝達するとともに、青森のあらゆる魅力を全国に発信する。
- 3 大会を象徴し、広く県民に愛されるような大会愛称やスローガン、マスコット等を制定し、その普及を図ることにより、大会開催の機運を高める。
- 4 大会の記録映像及び記録写真集等を制作し、その感動と興奮を永く記録にとどめ、大会開催の成果を青森の財産として未来へ継承する。

## 第80回国民体育大会広報基本計画

第80回国民体育大会（以下「大会」という。）の広報活動については、第80回国民体育大会広報基本方針に基づき、次の広報活動を積極的かつ効果的に推進する。

### 1 愛称・スローガン等による広報

大会を象徴する愛称・スローガン等を制定し、普及する。

- (1) 愛称・スローガン等の制定及び普及
- (2) マスコットの制定及び普及
- (3) イメージソング等の制定及び普及

### 2 印刷物等による広報

各種印刷物の作成、既存の広報紙等の活用及び各種広報物品を作成し、積極的な広報活動を展開する。

- (1) 広報紙の発行
- (2) ポスター、パンフレット、リーフレット等の作成
- (3) 各種ガイドブックの作成
- (4) 県・市町村、関係機関・団体及び企業等の刊行物（広報紙等）の活用
- (5) 広報グッズ等の作成

### 3 多様なメディアによる広報

報道機関との連携及びインターネットなど多様なメディアの活用により、迅速かつ広域的な広報活動の展開を図る。

- (1) 新聞、ラジオ、テレビ等による広報活動の推進
- (2) 県、市町村の広報活動の活用
- (3) ホームページ、ソーシャルメディア等の活用

### 4 イベント等による広報

大会開催までの節目などにおいてイベントを開催するとともに、各種イベント等と連携した広報活動を実施する。

- (1) 開催内定イベント、開催決定イベント等の開催
- (2) 県・市町村、関係機関・団体、企業、NPO、ボランティア団体、県内公立・私立学校、大学等において実施する各種イベント等におけるPR活動等の実施

## 5 屋外広告物による広報

広告塔や横断幕等を設置して大会開催の広報に努める。

- (1) 広告塔、歓迎塔、歓迎アーチ等の設置
- (2) 横断幕、懸垂幕等の設置
- (3) 案内板、カウントダウンボード等の設置

## 6 映像による広報

県民の参加意識の高揚を図るため、映像を活用した広報を実施する。

- (1) 前回国体（あすなろ国体）や国体先催県の記録映像（DVD等）の貸出及びホームページ上での公開
- (2) 広報用映像（DVD等）の制作及び貸出

## 7 記録映像等の制作

大会の成果を永く記録にとどめるため、記録映像等を制作する。

- (1) 大会記録映像（DVD等）の制作
- (2) 大会記録写真集の制作

## 8 参加章等の作成

大会の開催を記念し、大会参加章や記念章等を作成する。

- (1) 参加章、記念章等の作成
- (2) 記念グッズ等の作成

## 9 その他

その他、第80回国民体育大会広報基本方針に基づき、効果的な広報を実施する。

なお、大会開催時の報道活動に関し、その円滑な運営を図るため、報道機関による組織を別途設置する。

## 第80回国民体育大会マスコットキャラクター

### 1 制定目的

第80回国民体育大会開催基本方針、広報基本方針及び広報基本計画に基づき、大会の広報活動の一つとして、大会を象徴し、広く県民に愛されるようなマスコットキャラクターを制定し、国体開催の機運を高める。

### 2 第80回国民体育大会マスコットキャラクター

※ 今後、開催5年前に開催内定となった後、所要の手続きを経て、公式のマスコットキャラクターとなる。

『アップリート君』



### 3 選定理由

アップリート君は、平成19年度に開催された第20回全国スポーツ・レクリエーション祭『スポレクあおもり2007』のマスコットキャラクターとして、公募により選定し、誕生した。

祭典PR活動中から人気が高まり、祭典終了後も活躍を期待する声が多かったことから、平成20年4月からは、『青森県民のスポーツ・健康づくりのマスコット』として引き続き使用されている。

平成29年度に実施した第80回青森国体に向けたアンケートでも、アップリート君は認知度が高く、アップリート君を国体のマスコットキャラクターとするという意見が多かった。

### 4 マスコットキャラクターの国体仕様デザインの作成

国体のマスコットキャラクターであることを表すデザインとするため、今後、炬火のトーチをキャラクターの手に持たせて、ユニフォームを着用させる等の国体仕様とする。

また、各競技等に対応する展開型のデザインを必要に応じて作成する。

## 第80回国民体育大会会場地市町村第三次選定

### ○正式競技

#### 【市町村別】

No	市町村名	競技・種目名	種別	開催予定施設	
1	青森市	水泳	競泳	全種別	(仮称)新青森県総合運動公園水泳場
			水球	少年男子	
			AS	少年女子	
			OWS	男女	青森市特設OWS会場
2	おいらせ町	軟式野球	成年男子	おいらせ町下田公園野球場	
3	六ヶ所村			六ヶ所村大石総合運動公園第三球場	
4	県外	水泳	飛込	全種別	※今後調整

#### 【競技別】

No	競技・種目名	種別	市町村名	開催予定施設	
1	水泳	競泳	全種別	青森市	(仮称)新青森県総合運動公園水泳場
		水球	少年男子		
		AS	少年女子		
		OWS	男女		
		飛込	全種別	県外	※今後調整
2	軟式野球	成年男子	おいらせ町	おいらせ町下田公園野球場	
			六ヶ所村	六ヶ所村大石総合運動公園第三球場	

※AS＝アーティスティックスイミング

(平成30年4月1日にシンクロナイズドスイミングから名称変更)

### ○公開競技

#### 【市町村別】

No	市町村名	競技・種目名	種別	開催予定施設
1	十和田市	バウンドテニス	全種別	十和田市総合体育センター
2	平川市	グラウンド・ゴルフ	全種別	平川市陸上競技場、平賀多目的広場、平賀ドーム
		エアロビック	全種別	(仮称)平川市民体育館
3	平内町	綱引	全種別	平内町立体育館
4	藤崎町	パワーリフティング	全種別	スポーツプラザ藤崎

#### 【競技別】

No	競技・種目名	種別	市町村名	開催予定施設
1	綱引	全種別	平内町	平内町立体育館
2	パワーリフティング	全種別	藤崎町	スポーツプラザ藤崎
3	グラウンド・ゴルフ	全種別	平川市	平川市陸上競技場、平賀多目的広場、平賀ドーム
4	バウンドテニス	全種別	十和田市	十和田市総合体育センター
5	エアロビック	全種別	平川市	(仮称)平川市民体育館

#### (留意事項)

開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体正規視察の結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

# 第80回国民体育大会開催基本構想 (素案)



年 月

第80回国民体育大会青森県準備委員会

## 目 次

はじめに 第80回国民体育大会開催基本構想の策定に当たって ～48年ぶりの青森県開催に向けて～	P.○
第1章 第80回国民体育大会の開催に向けて	P.○
1 国民体育大会とは	
2 国民体育大会のあゆみ	
3 国民体育大会の課題と改革	
4 青森県での開催意義	
第2章 第80回国民体育大会の基本目標と目指す方向	P.○
1 基本目標	
2 目指す方向	
第3章 基本目標の実現に向けた取組	P.○
1 県民の誰もがスポーツに親しむ国体	
2 県民が自発的、積極的に参加する国体	
3 来県者を熱い心でおもてなしする国体	
第4章 「スポーツが盛んな青森県」の実現に向けて	P.○

## はじめに 第80回国民体育大会開催基本構想の策定に当たって ～48年ぶりの青森県開催に向けて～

国民体育大会は、昭和21年（1946年）に京都を中心とした京阪神地域で第1回が開催されて以来、都道府県持ち回りで開催されている国内最大のスポーツの祭典であり、国民の健康増進と体力向上、地方スポーツの振興と地方文化の発展等に寄与してきました。

青森県では、昭和52年（1977年）に「心ゆたかに 力たくましく」のローガンの下、第32回国民体育大会「あすなる国体」が、初の完全国体（冬季、夏・秋季の全種目を同一県内で開催）により県内各地で開催し、本県のスポーツ振興に多大な影響を与えるとともに、完全国体を成し遂げた県民の自信と誇りは、その後の県勢発展の大きな原動力となりました。

前回開催から48年ぶりとなる2025年に青森県で第80回国民体育大会を開催します。

この開催基本構想は、「青森県基本計画」において本県が目指す「スポーツが盛んな青森県」を踏まえ制定した「第80回国民体育大会開催基本方針（平成28年8月31日 第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回総会決定）」に基づき、大会の開催及び開催準備の指針となる基本目標とその実現に向けた方向性を明らかにするものです。

## 第1章 第80回国民体育大会の開催に向けて

### 1 国民体育大会（国体）とは

国体は、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上を目指し、地方スポーツの推進と地方文化の発展を図ることを目的として、毎年開催されている国内最大の国民スポーツの祭典です。

「冬季大会」と「本大会」の競技得点の合計を競う都道府県対抗方式で開催され、天皇杯（男女総合成績1位）・皇后杯（女子総合成績1位）の獲得を目指し、都道府県代表の選手が各競技で熱い戦いを繰り広げます。

青森県で開催する国体では、競技得点の加点対象となる「正式競技」のほか、「特別競技」、「公開競技」、「デモンストレーションスポーツ」といった競技を実施することになります。

### 第80回国民体育大会（本大会）における実施予定競技

区分	競技名
正式競技（37競技）	陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレール射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
特別競技（1競技）	高等学校野球
公開競技（7競技）	綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック
デモンストレーションスポーツ	地方スポーツの推進、国民の健康増進・体力の向上等をはじめ、国民のスポーツ推進を図るため、県内居住者を対象として実施する競技（今後選定）

### 2 国民体育大会のあゆみ

国体は、戦後の混乱期の中で国民に希望と勇気を与えるため、昭和21年（1946年）に、京都を中心とした京阪神地域で第1回大会が開催されて以来、毎年、各都道府県の持ち回りで開催されています。

昭和23年（1948年）の第3回福岡県大会から都道府県対抗方式が確立し、天皇杯と皇后杯が創設されました。

昭和63年（1988年）の第43回京都府大会から2巡目に入り、全国を東

地区（北海道・東北・関東）、中地区（北信越・東海・近畿）、西地区（中国・四国・九州）の3つに分けて輪番制で開催されています。

当初は、冬季、夏季、秋季の3会期で実施されていた国体は、平成18年（2006年）の第61回兵庫県大会から夏季大会と秋季大会が統合され、以降は冬季大会と本大会の2会期として開催されています。

なお、平成13年（2001年）の第56回宮城県大会からは、国体開催後、開催県で全国障害者スポーツ大会が開催されています。

### 3 国民体育大会の課題と改革

第1回大会が開催されて以来、半世紀以上が経過する中で、国内のスポーツレベルの向上と国際化により、トップアスリートが国際大会に関連する大会への出場を重視し、国体への参加を見送ることや、地方自治体の財政状況が厳しさを増す中で、開催地に求められる人的、財政的負担感が増大したことなど、国体を取り巻く状況は変化してきました。

このような状況を踏まえて、公益財団法人日本体育協会（現公益財団法人日本スポーツ協会 以下「日本スポーツ協会」とする。）では、平成15年（2003年）3月に「新しい国民体育大会を求めて～国体改革2003～」を策定し、「大会の充実・活性化」と「大会運営の簡素・効率化」の観点から、トップアスリートの参加促進、夏季大会と秋季大会の一本化、総参加数の削減など、新しい国体に向けた各種改革の取組を進め、さらに、平成25年（2013年）3月には「21世紀の国体像～国体ムーブメントの推進～」を策定し、少年種別の充実や各競技会の実施規模等の見直しなどの取組も進めているところです。

また、オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市が東京都に決定したことを受け、平成26年（2014年）6月には「国民体育大会における2020年オリンピック対策実行計画」を策定し、継続的なアスリートの発掘・育成・強化の促進のために、オリンピック競技大会の実施競技等で国体において未実施の競技等の一部を追加して競技会を実施しています。

日本スポーツ協会では、引き続き、大会開催経費の負担軽減等、各種諸課題について国体改革の取組を推進することとしています。

#### 4 青森県での開催意義

国体は、国内最大のスポーツの祭典であると同時に、国内トップレベルの競技を身近に観戦することができる絶好の機会であり、全国から沢山の参加者が県内各地を訪れることとなります。また、デモンストレーションスポーツの実施により、競技スポーツばかりではなく、県民の誰もが気軽に参加できる生涯スポーツの推進も図られます。

このような中、青森県で国体を開催することは、県民のスポーツに対する興味・関心を高めるほか、スポーツによる地域の活性化やスポーツを通じた健康づくりや生きがいつくりの推進、次代を担う子どもたちに夢や希望を与えるなど、本県にとって、新たな活力の創出に繋がるという意味で、大いに意義があり、全国から訪れる多くの参加者へ本県のあらゆる魅力を発信できる貴重な機会でもあります。

## 第2章 第80回国民体育大会の基本目標と目指す方向

### 1 基本目標

#### オールあおもりで感動を創出し、県民のレガシー（遺産）とする

青森県で開催する第80回国民体育大会が、県民力を結集し、青森らしさあふれる大会となるよう、開催準備段階から感動が創出されるとともに、様々な取組が開催後の本県活力へ繋がることを目指して、「オールあおもりで感動を創出し、県民のレガシー（遺産）とする」ことを基本目標と定めます。

また、基本目標の実現に向けて次の3つの項目を大きな柱として、様々な取組を展開していきます。

### 2 目指す方向

#### （1）県民の誰もがスポーツに親しむ国体

本県選手が活躍するとともに、県民の誰もが、スポーツの楽しさや素晴らしさを実感し、国体開催時のみならず、開催後もスポーツに親しむ大会を目指します。

#### （2）県民が自発的、積極的に参加する国体

県民一人ひとりが持つ知恵や力が、開催準備段階から発揮され、開催時にそれらが結集することで、大きな県民力となる大会を目指します。

#### （3）来県者を熱い心でおもてなしする国体

大会に参加する来県者を心から歓迎するとともに、青森県のあらゆる魅力を発信するなど、熱い心でおもてなしする大会を目指します。

### 第3章 基本目標の実現に向けた取組

#### 1 県民の誰もがスポーツに親しむ国体

##### (1) スポーツを通じた健康づくり、生きがいつくりの推進

- ・ 県民一人ひとりが、年間を通して身近で気軽に取り組めるよう、地域におけるスポーツ教室や健康づくり教室、スポーツイベント等の情報を発信するなど、地域のスポーツ活動を推進します。
- ・ 国体開催後に開催が予定されている全国障害者スポーツ大会に向け、障害者のスポーツ活動への理解や普及・啓発、発展に努めます。
- ・ 国体実施競技のうち、デモンストレーションスポーツについては、生涯スポーツの推進のためにも、可能な限り様々な競技を県内各地で開催します。

##### (2) 将来にわたり持続可能な競技力の向上

- ・ 県内関係分野の機関・団体等で構成する県競技力向上対策本部による競技力向上の推進体制の充実を図ります。
- ・ 継続的な指導体制の確立のため、指導者の計画的な養成及び資質の向上を図ります。
- ・ ジュニア期からの選手の発掘を行い、国体等の全国大会や、国際大会等で活躍できる選手の育成・強化に努めます。

##### (3) スポーツへの関心の広がり

- ・ 県内ゆかりのアスリートによる、国体実施競技の認知度向上を図るとともに、各競技の魅力を発信します。
- ・ 県内で開催するプロスポーツや各種スポーツ大会等について、積極的に周知します。
- ・ 大会開催時には、観戦のために各競技会へ訪れる県内外の多くの方々に対応できるよう、必要な環境整備に努めます。

#### 2 県民が自発的、積極的に参加する国体

##### (1) オールあおもりとなる県民運動の推進

- ・ 様々な機会を通じて県民に対し大会開催への理解を図るとともに、多様な広報媒体を活用した効果的な広報活動により開催気運の醸成を図ります。
- ・ 子どもや学生をはじめ、働き世代、高齢者など、広く県民が、自発的、積極

的に参加する多彩な県民運動を展開します。

- ・企業やNPO等が持つノウハウや発想を積極的に取り入れ、協働による取組を行うことにより、効率的・効果的な大会の開催に努めます。

## **(2) ボランティア等の人財育成**

- ・総合開・閉会式や各競技会、総合案内所等で活躍する大会を支えるボランティアを募集・養成します。
- ・競技会の開催に当たる競技役員等について、県内競技団体と連携して計画的に養成します。

## **(3) 県内各地での競技会の開催**

- ・多くの県民が各地域で参画し、スポーツの定着が図れるよう、正式競技、特別競技、公開競技及びデモンストレーションスポーツについて、可能な限り県内各地で分散開催します。
- ・大会運営や準備に当たっては、公共交通機関等の利用促進を図るなど、環境への配慮に努めます。
- ・同一競技を共同で開催する市町村間では、競技会開催に係る宿泊や輸送、地域の魅力発信などについて、連携した取組を進めます。

# **3 来県者を熱い心でおもてなしする国体**

## **(1) あおもりのあらゆる魅力の発信**

- ・あおもりの自然・歴史・文化・食・物産等のあらゆる魅力について、全国の方々に開催前から注目されるよう、観光関連団体等と連携をしながら効果的、複合的に全国へ発信します。
- ・競技会会場地周辺をはじめ、周辺市町村へも来県者が訪れたいくなるよう、地域の魅力発信に取り組みます。

## **(2) 来県者との交流の促進**

- ・県内の駅や空港など交通の主要な場所に、来県者を歓迎し、大会や観光等の様々な情報が入手できる総合案内所を設置します。
- ・総合開・閉会式や各競技会会場では、参加選手等と県民との交流が図られるよう、機会の充実に努めます。
- ・全ての参加選手が、その力を十分に発揮できるよう、本県選手はもちろんのこと、他都道府県選手の応援も行うことで、大会全体を盛り上げます。

### (3) 来県者等へのおもてなしの推進

- ・参加者や来県者、関係者等が、必要な情報を容易に入手できるよう、ICTを活用するなどした環境整備に努めます。
- ・県民一人ひとりが、来県者を歓迎し、まごころや親切心を持って接するなど、心のこもったおもてなしに努めます。

## 第4章 「スポーツが盛んな青森県」の実現に向けて

全国的な人口減少や少子・高齢化に加え、青森県は平均寿命が男女とも全国最下位の状況にあります。スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進など、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものであり、県民一人ひとりが、健やかな生命と心を育み、豊かな暮らしを送ることができる活力ある長寿県（健康長寿県）を目指す青森県にとって、スポーツの推進は大変重要な要素であると言えます。

このような中、あすなろ国体以来48年ぶりに青森県で開催する国体を、様々な課題解決の絶好の機会と捉え、よりよい青森県づくりのために国体開催を成功させることはもちろんのこと、国体開催後にもその効果が持続することが重要です。

競技力の向上や地域スポーツの推進により、スポーツを「する」人が増えることは、全国大会や国際大会で多くの選手が活躍し、県民に活力を与えるとともに子どもたちへ夢や希望、勇気を与えることができます。また、多くの県民がスポーツに親しみ、日常的にスポーツに取り組むこととなり、健康長寿県へつながります。

国体開催を通じたスポーツへの関心の広がりにより、スポーツを「みる」人が増えることは、県民のスポーツへの興味・関心を高め、スポーツ観戦の楽しさや素晴らしさを理解し、プロスポーツや各種スポーツ大会が賑わい、地域経済へも好影響をもたらすことができます。

大会ボランティアや競技役員等が養成され、大会期間中を通して活躍することにより、スポーツを「ささえる」人が増えることは、国体開催後の青森県のスポーツ活動の基盤となり、地域活動への意識が醸成され、地域が更なる発展をするための活力にもなります。

このように県民が様々な形でスポーツに関わることは、県民一人ひとりの貴重な財産となり、青森県が目指す「スポーツが盛んな青森県」の実現へ向けての大きな原動力となります。国体開催後も多くの人財が活躍し、スポーツを通して地域が活性化されるよう、2025年、国内最大のスポーツの祭典である第80回国民体育大会の開催に向け、県民の総力を結集し、オールあおもりで取り組んでいきます。

## 第80回国民体育大会会場地市町村選定状況（競技別）

### ○正式・特別競技

No	競技・種目名	種別	市町村名	開催予定施設	選定期
1	陸上競技	全種別	青森市	(仮称) 新青森県総合運動公園陸上競技場	第一次
2	水泳	競泳	全種別	(仮称) 新青森県総合運動公園水泳場	第三次
		水球	少年男子		
		AS	少年女子		
		飛込	全種別	県外	※今後調整
	OWS	全種別	青森市	青森市特設OWS会場	第三次
3	サッカー	成年男子	五戸町	五戸町ひばり野公園陸上競技場 五戸町ひばり野公園サッカー場	第一次
			南部町	ふるさと運動公園陸上競技場	
		女子	十和田市	十和田市高森山総合運動公園球技場 十和田市若葉球技場	
			五戸町	五戸町ひばり野公園陸上競技場	
		少年男子	八戸市	八戸市多賀多目的運動場 八戸市東運動公園陸上競技場 八戸市南郷陸上競技場	
4	テニス	全種別	青森市	新青森県総合運動公園テニスコート	第一次
5	ボート	全種別	むつ市	むつ市大湊特設ボート場	第二次
6	ホッケー			未選定	
7	バレーボール	成年男子	青森市	マエダアリーナ	第一次
		少年男子			
		成年女子	五所川原市	五所川原市民体育館	
		少年女子	つがる市	(仮称) つがる市総合体育館	
8	体操	競技	弘前市	青森県武道館	第一次
		新体操			
9	バスケットボール	成年男子	八戸市	八戸市東体育館	第一次
		成年女子	むつ市	(仮称) むつ市総合アリーナ	
		少年男子	十和田市	十和田市総合体育センター	
		少年女子	三沢市	三沢市国際交流スポーツセンター	
10	レスリング	全種別	八戸市	八戸市東体育館	第一次
11	セーリング	全種別	むつ市	大平マリナー	第二次
12	ウエイトリフティング	全種別	平川市	(仮称) 平川市民体育館	第一次
13	ハンドボール	成年男子	青森市	盛運輸アリーナ	第一次
		成年女子			
		少年男子	野辺地町	(仮称) 野辺地町総合体育館	
		少年女子			
14	自転車	トラックレース	八戸市	八戸自転車競技場	第一次
		ロードレース	全種別	階上町	
15	ソフトテニス	全種別	青森市	新青森県総合運動公園テニスコート	第一次
16	卓球	全種別	青森市	マエダアリーナ	第一次
17	軟式野球	成年男子	青森市	青森県営野球場 青森市営野球場	第二次
			三沢市	三沢市民運動広場野球場	
			六戸町	六戸町総合運動公園野球場	
			おいらせ町	おいらせ町下田公園野球場	第三次
			六ヶ所村	六ヶ所村大石総合運動公園第三球場	
18	相撲	全種別	十和田市	十和田市相撲場	第一次
19	馬術	馬場馬術	未選定		
		障害馬術			
20	フェンシング	全種別	むつ市	(仮称) むつ市総合アリーナ	第一次
21	柔道	全種別	つがる市	(仮称) つがる市総合体育館	第一次

No	競技・種目名	種別	市町村名	開催予定施設	選定期	
22	ソフトボール	成年男子	八戸市	八戸市長根公園野球場 八戸市東運動公園野球場	第一次	
		成年女子	弘前市	弘前市運動公園野球場 弘前市運動公園多目的運動広場		
		少年男子	東北町	東北町北総合運動公園 東北町南総合運動公園		
		少年女子	三沢市	三沢市民運動広場野球場 三沢市南山屋外運動場		
23	バドミントン	全種別	黒石市	スポカルイン黒石	第一次	
24	弓道	全種別	弘前市	青森県武道館	第一次	
25	ライフル射撃	50m	未選定			
		10m・AP BP・BR				
	CP	成年男子	青森市	青森県警察学校射撃場	第二次	
26	剣道	全種別	七戸町	(仮称)七戸町新体育館	第一次	
27	ラグビーフットボール	7人制	成年男子 女子	八戸市	八戸市多賀多目的運動場 八戸市東運動公園陸上競技場 八戸市南郷陸上競技場	第一次
		15人制	少年男子	青森市	青森市スポーツ広場ラグビー場 青森市スポーツ広場多目的グラウンド 新青森県総合運動公園球技場	第一次
28	スポーツライミング	リード	全種別	青森市	盛運輸アリーナ	第二次
		ボールディング	全種別			
29	カヌー	スプリント	全種別	西目屋村	津軽白神湖特設カヌー競技場 岩木川カヌー競技場	第一次
		スラローム	全種別			
		ワイルドウォーター	全種別			
30	アーチェリー	全種別	青森市	(仮称)新青森県総合運動公園陸上競技場補助競技場・投てき練習場	第一次	
31	空手道	全種別	弘前市	青森県武道館	第一次	
32	銃剣道	全種別	三沢市	三沢市国際交流スポーツセンター	第二次	
33	クレール射撃	全種別	弘前市	弘前クレール射撃場	第二次	
34	なぎなた	全種別	藤崎町	スポーツプラザ藤崎	第一次	
35	ボウリング	成年男子 成年女子	八戸市	ゆりの木ボウル	第一次	
		少年男子 少年女子	三沢市	三沢ボウル		
36	ゴルフ	成年男子	平内町	夏泊ゴルフリンクス	第一次	
		女子 少年男子	青森市	青森カントリー倶楽部 東奥カントリークラブ		
37	トライアスロン	全種別	青森市	青森市特設トライアスロン会場	第一次	
38	高等学校野球	硬式	弘前市	弘前市運動公園野球場	第一次	
		軟式		岩木山総合公園野球場		

### ○公開競技

No	競技・種目名	種別	市町村名	開催予定施設	選定期
1	綱引	全種別	平内町	平内町立体育館	第三次
2	ゲートボール	未選定			
3	武術太極拳				
4	パワーリフティング	全種別	藤崎町	スポーツプラザ藤崎	第三次
5	グラウンド・ゴルフ	全種別	平川市	平川市陸上競技場、平賀多目的広場、平賀ドーム	第三次
6	バウンドテニス	全種別	十和田市	十和田市総合体育センター	第三次
7	エアロビック	全種別	平川市	(仮称)平川市民体育館	第三次

※第一次選定 (H29. 4. 19)、第二次選定 (H30. 1. 15)、第三次選定 (H30. 6. 6)

## 第80回国民体育大会会場地市町村選定状況（市町村別）

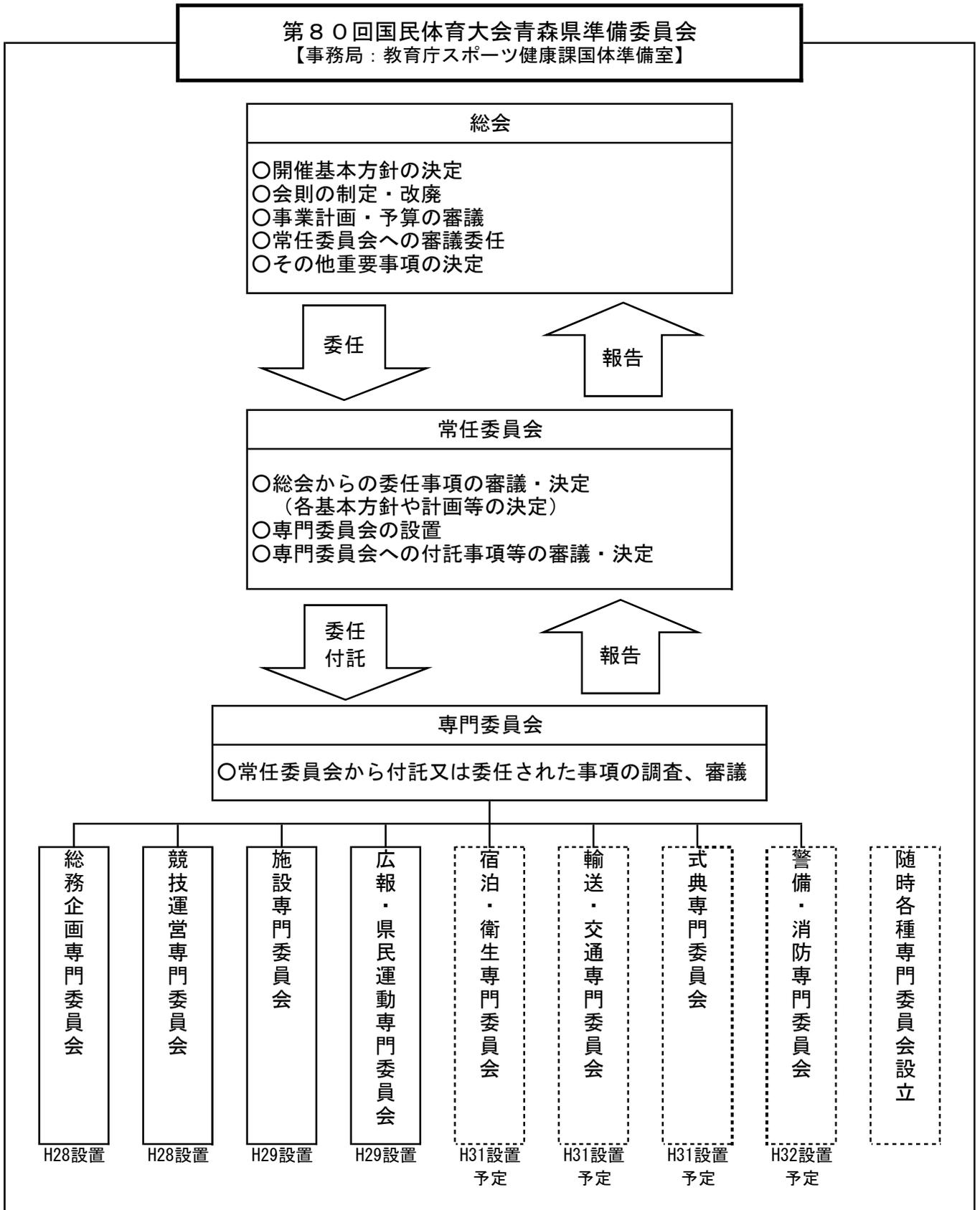
No	市町村名	競技・種目名	種別	開催予定施設	選定期	
1	青森市	陸上競技	全種別	(仮称) 新青森県総合運動公園陸上競技場	第一次	
		水泳	競泳	全種別	(仮称) 新青森県総合運動公園水泳場	第三次
			水球	少年男子		
			AS	少年女子		
			OWS	全種別	青森市特設OWS会場	
		テニス	全種別	新青森県総合運動公園テニスコート	第一次	
		バレーボール	成年男子	マエダアリーナ	第一次	
			少年男子			
		ハンドボール	成年男子	盛運輸アリーナ	第一次	
			成年女子			
		ソフトテニス	全種別	新青森県総合運動公園テニスコート	第一次	
		卓球	全種別	マエダアリーナ	第一次	
		軟式野球	成年男子	青森県営野球場	第二次	
				青森市営野球場		
		ライフル射撃	CP	成年男子	青森県警察学校射撃場	第二次
		ラグビーフットボール	15人制	少年男子	青森市スポーツ広場ラグビー場	第一次
					青森市スポーツ広場多目的グラウンド	
新青森県総合運動公園球技場						
スポーツクライミング	リード	全種別	盛運輸アリーナ	第二次		
	ボルダリング	全種別				
アーチェリー	全種別	(仮称) 新青森県総合運動公園陸上競技場補助競技場・投てき練習場	第一次			
ゴルフ	女子	青森カントリー倶楽部	第一次			
	少年男子	東奥カントリークラブ				
トライアスロン	全種別	青森市特設トライアスロン会場	第一次			
2	弘前市	体操	競技	全種別	青森県武道館	第一次
			新体操	少年女子		
		ソフトボール	成年女子	弘前市運動公園野球場	第一次	
				弘前市運動公園多目的運動広場		
		弓道	全種別	青森県武道館	第一次	
		空手道	全種別	青森県武道館	第一次	
クレー射撃	全種別	弘前クレー射撃場	第二次			
(特別) 高等学校野球	硬式	—	弘前市運動公園野球場	第一次		
	軟式	—	岩木山総合公園野球場			
3	八戸市	サッカー	少年男子	八戸市多賀多目的運動場	第一次	
				八戸市東運動公園陸上競技場		
				八戸市南郷陸上競技場		
		バスケットボール	成年男子	八戸市東体育館	第一次	
				八戸市東体育館		
		自転車	トラックレース	全種別	八戸自転車競技場	第一次
		ソフトボール	成年男子	八戸市長根公園野球場	第一次	
八戸市東運動公園野球場						
ラグビーフットボール	7人制	成年男子 女子	八戸市多賀多目的運動場	第一次		
			八戸市東運動公園陸上競技場			
			八戸市南郷陸上競技場			
ボウリング	成年男子 成年女子	ゆりの木ボウル	第一次			
4	黒石市	バドミントン	全種別	スポカルイン黒石	第一次	
5	五所川原市	バレーボール	成年女子	五所川原市民体育館	第一次	
6	十和田市	サッカー	女子	十和田市高森山総合運動公園球技場	第一次	
				十和田市若葉球技場		
		バスケットボール	少年男子	十和田市総合体育センター	第一次	
				相撲		全種別
(公開) バウトテニス	全種別	十和田市総合体育センター	第三次			

No	市町村名	競技・種目名	種別	開催予定施設	選定期	
7	三沢市	バスケットボール	少年女子	三沢市国際交流スポーツセンター	第一次	
		軟式野球	成年男子	三沢市民運動広場野球場	第二次	
		ソフトボール	少年女子	三沢市民運動広場野球場	第一次	
				三沢市南山屋外運動場		
		銃剣道	全種別	三沢市国際交流スポーツセンター	第二次	
ボウリング	少年男子	三沢ボウル	第一次			
	少年女子					
8	むつ市	ボート	全種別	むつ市大湊特設ボート場	第二次	
		バスケットボール	成年女子	(仮称)むつ市総合アリーナ	第一次	
		セーリング	全種別	大平マリーナ	第二次	
		フェンシング	全種別	(仮称)むつ市総合アリーナ	第一次	
9	つがる市	バレーボール	少年女子	(仮称)つがる市総合体育館	第一次	
		柔道	全種別	(仮称)つがる市総合体育館	第一次	
10	平川市	ウエイトリフティング	全種別	(仮称)平川市民体育館	第一次	
		(公開)グラウンド・ゴルフ	全種別	平川市陸上競技場、平賀多目的広場、平賀ドーム	第三次	
		(公開)エアロビック	全種別	(仮称)平川市民体育館	第三次	
11	平内町	ゴルフ	成年男子	夏泊ゴルフリンクス	第一次	
		(公開)綱引	全種別	平内町立体育館	第三次	
12	西目屋村	カヌー	スプリント	全種別	津軽白神湖特設カヌー競技場	第一次
			スラローム	全種別	岩木川カヌー競技場	
			ワイルドウォーター	全種別		
13	藤崎町	なぎなた	全種別	スポーツプラザ藤崎	第一次	
		(公開)パワーリフティング	全種別		第三次	
14	野辺地町	ハンドボール	少年男子 少年女子	(仮称)野辺地町総合体育館	第一次	
15	七戸町	剣道	全種別	(仮称)七戸町新体育館	第一次	
16	六戸町	軟式野球	成年男子	六戸町総合運動公園野球場	第二次	
17	東北町	ソフトボール	少年男子	東北町北総合運動公園	第一次	
				東北町南総合運動公園		
18	六ヶ所村	軟式野球	成年男子	六ヶ所村大石総合運動公園第三球場	第三次	
19	おいらせ町	軟式野球	成年男子	おいらせ町下田公園野球場	第三次	
20	五戸町	サッカー	成年男子	五戸町ひばり野公園陸上競技場	第一次	
				五戸町ひばり野公園サッカー場		
			女子	五戸町ひばり野公園陸上競技場		
21	南部町	サッカー	成年男子	ふるさと運動公園陸上競技場	第一次	
22	階上町	自転車	ロードレース	全種別	階上町特設ロードレースコース	第一次
	県外	水泳	飛込	全種別	※今後調整	
未選定	未選定	ホッケー		未選定		
		馬術	馬場馬術			
			障害馬術			
		ライフル射撃	50m			
			10m・AP			
			BP・BR			
(公開)ゲートボール						
(公開)武術太極拳						

※第一次選定 (H29. 4. 19)、第二次選定 (H30. 1. 15)、第三次選定 (H30. 6. 6)

※競技名の前にある「(特別)」は特別競技、「(公開)」は公開競技、それ以外は正式競技

# 第80回国民体育大会青森県準備委員会組織構成図



**第80回国民体育大会青森県準備委員会各専門委員会名簿**  
(◎委員長、○副委員長)

**総務企画専門委員会 (16名)**

平成30年5月14日現在

分野	機関・団体名及び役職名	氏名
市町村関係	青森県市長会 事務局長	嶋口 幸造
	青森県町村会 事務局長	小笠原 靖介
体育・スポーツ関係	◎公益財団法人青森県体育協会 専務理事	田澤 俊明
	青森県スポーツ推進審議会 委員	山本 美紗子
	特定非営利活動法人青森県スポーツ・レクリエーション連盟 事務局長	葛西 のり子
学校関係	青森県高等学校体育連盟 副会長	安達 健夫
	青森県中学校体育連盟 副会長	奥島 義光
福祉・障害者関係	特定非営利活動法人青森県障害者スポーツ協会 理事	中嶋 実樹
学識経験者	○弘前大学教育学部長	戸塚 学
経済・産業関係	青森県商工会議所連合会 事務局長	道川 浩治
	青森県商工会連合会 事務局長	苫米地 勝
県関係	総務部市町村課 課長	米田 圭吾
	企画政策部企画調整課 課長	東 直樹
	健康福祉部障害福祉課 課長	村上 直弘
	観光国際戦略局観光企画課 課長	三上 洋輝
	教育庁スポーツ健康課 課長	相坂 譲

**競技運営専門委員会 (15名)**

平成29年10月26日現在

分野	機関・団体名及び役職名	氏名
体育・スポーツ関係	◎公益財団法人青森県体育協会 競技力向上委員長 (兼スポーツ推進審議会)	岡村 良久
	○公益財団法人青森県体育協会 スポーツ振興課長 (事務局次長)	山口 哲寛
	一般財団法人青森陸上競技協会 理事長 (事務局)	安田 信昭
	青森県水泳連盟 事務局長	木村 聖士
	一般社団法人青森県サッカー協会 事務局長	石原 静子
	青森県テニス協会 事務局長	渡辺 修平
	青森県バレーボール協会 事務局長	鳴海 安久
	一般財団法人バスケットボール協会 事務局長	板橋 徹
学校関係	青森県柔道連盟 理事長 (事務局)	福田 昌由
	青森県中学校体育連盟 理事長	太田 尚人
学識経験者	青森県高等学校体育連盟 理事長	下川原 堅藏
	国立大学法人弘前大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座 教授	津田 英一
	公立大学法人青森公立大学経営経済学部 教授	飯田 俊郎
県関係	八戸学院大学健康医療学部 准教授 (兼スポーツ推進審議会)	高嶋 渉
	教育庁スポーツ健康課 課長	相坂 譲

**広報・県民運動専門委員会 (27名)**

平成30年5月15日現在

分野	機関・団体名及び役職名	氏名
報道関係	○青森放送株式会社 報道部長	鳴海 勝彦
	株式会社青森テレビ 報道制作部長	成田 克彦
	青森朝日放送株式会社 報道制作部長	帷子 聖修
	日本放送協会青森放送局 放送部長	青田 浩一
	株式会社東奥日報社 社会部次長	秋元 宏宣
	株式会社陸奥新報社青森支社 編集部長	今井 珠世
	株式会社デーリー東北新聞社青森支社 編集部長	長谷川 開文
経済・産業関係	株式会社エフエム青森 放送部長	鈴木 耕治
	青森県商工会議所連合会(青森商工会議所) 地域振興部長	鈴木 匡
	青森県商工会連合会 総務組織課長	井上 英治
観光関係	青森県中小企業団体中央会 総務課長	船水 礼子
	公益社団法人青森県観光連盟 事務局長	鈴木 耕司
学識経験者	◎公立大学法人青森公立大学 教授	香取 真理
社会・福祉関係	社会福祉法人青森県社会福祉協議会 事務局長	工藤 昌彦
	公益財団法人青森県老人クラブ連合会 事務局長	五戸 秀樹
	青森県地域婦人団体連合会 事務局長	鈴木 静子
スポーツ関係	青森県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 会長	鹿内 葵
学校関係	青森県小学校長会 副会長	福井 巧二
	青森県中学校長会 副会長	川井 清広
	青森県高等学校長協会 常任理事	長者久保 雅仁
	青森県特別支援学校校長会 副会長	成田 安男
	青森県私立中学高等学校校長協会 事務局長	嶋津 泰久
市町村関係	青森市 広報広聴課長	田中 聡子
	おいらせ町 総務課長	泉山 裕一
県関係	企画政策部広報広聴課 課長	白山 昭彦
	環境生活部県民生活文化課 課長	福井 弘信
	観光国際戦略局観光企画課 課長	三上 洋輝

施設専門委委員会（16名）

平成29年8月30日現在

分野	機関・団体名及び役職名	氏名
学識経験者	◎八戸工業高等専門学校 准教授（青森県都市計画審議会会長）	馬 渡 龍
スポーツ関係	○青森県体育施設協会 会長	和 嶋 裕 人
	青森県体育協会 総務課長	矢 野 政 弦
社会・福祉関係	一般財団法人青森県身体障害者福祉協会 事務局長	齋 藤 道 明
学校関係	青森県高等学校長協会 常任理事	奈 良 昌 孝
	青森県私立中学高等学校長協会 副会長	花 田 惇
市町村関係	青森県市長会 事務局長	嶋 口 幸 造
	青森県町村会業務共済課 業務共済課長	吉 本 知 己
県関係	総務部市町村課 課長	丸 尾 豊
	健康福祉部障害福祉課 課長	竹 島 徹
	県土整備部道路課 課長	山 本 隆 史
	県土整備部港湾空港課 課長	天 間 俊 介
	県土整備部都市計画課 課長	下 村 誠
	県土整備部建築住宅課 課長	成 田 宏 之
	教育庁学校施設課 課長	児 玉 政 光
	教育庁スポーツ健康課 課長	相 坂 讓

## 第 80 回国民体育大会青森県準備委員会会則

### 第 1 章 総則

(名称)

第 1 条 本会は、第 80 回国民体育大会青森県準備委員会（以下「準備委員会」という。）と称する。

(目的)

第 2 条 準備委員会は、第 80 回国民体育大会（以下「大会」という。）を青森県において開催するために必要な準備を行うことを目的とする。

(事業)

第 3 条 準備委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 大会開催に必要な方針及び計画の策定に関すること。
- (2) 大会における実施競技及び会場市町村に関すること。
- (3) 大会開催に必要な施設・設備の整備計画に関すること。
- (4) 大会開催及び準備に係る経費に関すること。
- (5) 関係行政機関及び関係機関との連絡調整に関すること。
- (6) その他大会を開催するために必要な準備に関すること。

### 第 2 章 組織

(構成)

第 4 条 準備委員会は、会長及び委員をもって構成する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから会長が委嘱する。

- (1) 県及び市町村を代表する者
- (2) 県及び市町村の議会を代表する者
- (3) 関係競技団体その他関係機関・団体を代表する者
- (4) 前各号に掲げる者のほか大会開催の準備に関係ある者

3 会長及び委員は、無報酬とする。

(役員)

第 5 条 準備委員会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副 会 長 7 名以内
- (3) 常任委員 60 名以内
- (4) 監 事 3 名以内

(役員を選任)

第 6 条 準備委員会の会長は、青森県知事をもって充てる。

2 副会長及び常任委員は、総会の承認を得て委員のうちから会長が委嘱する。

3 監事は、総会の承認を得て会長が委嘱する。

4 副会長、常任委員及び監事は、無報酬とする。

(役員職務)

第 7 条 会長は、準備委員会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、あらかじめ会長が指名した副会長が、その職務を代理する。

3 常任委員は、常任委員会を構成し、第12条第7項に掲げる事項を審議する。

4 監事は、準備委員会の財務を監査する。

(任期等)

第8条 委員及び役員（以下「委員等」という。）の任期は、委嘱されたときから準備委員会の目的が達成されたときまでとする。ただし、委員等が就任時におけるそれぞれの所属機関又は団体等の役職を離れた場合は、その委員等は辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

2 会長は、委員等に特別な事情が生じたときは、その職を解き、必要に応じて補充することができる。

3 会長は、前2項の規定により委員等の変更があった場合は、次の総会において報告する。

(顧問及び参与)

第9条 準備委員会に顧問及び参与を置くことができる。

2 顧問及び参与は、会長が委嘱する。

3 顧問は、会務の重要な事項について、会長の諮問に応じ助言を行う。

4 参与は、会長が必要と認める事項について、会長の諮問に応じ助言を行う。

5 前条の規定は、顧問及び参与の任期等について準用する。

6 顧問及び参与は、無報酬とする。

### 第3章 会議

(会議の種類)

第10条 準備委員会に、次の会議を置く。

(1) 総会

(2) 常任委員会

(3) 専門委員会

(総会)

第11条 総会は、会長及び委員をもって構成する。

2 総会は、必要に応じて会長が招集する。

3 総会の議長は、会長又は会長が指名した者がこれにあたる。

4 総会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。

(1) 大会の開催に必要な方針に関すること。

(2) 会則の制定及び改廃に関すること。

(3) 事業計画及び事業報告に関すること。

(4) 予算及び決算に関すること。

(5) 常任委員会に委任する事項に関すること。

(6) その他重要な事項に関すること。

5 総会は、委員の過半数の出席がなければ開会し、議決することはできない。ただし、総会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項について、代理人に権

限を委任し、又は書面で議決に加わることができる。

- 6 総会の議事は、出席委員（代理人に権限を委任し、又は書面で議決に加わった者を含む。）の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 7 会長は、必要に応じて顧問及び参与に総会への出席を求めることができる。  
（常任委員会）

第12条 常任委員会は、委員長、副委員長及び常任委員をもって構成する。

- 2 委員長は、会長をもって充てる。
- 3 副委員長は、副会長をもって充てる。
- 4 常任委員会は、必要に応じて委員長が招集する。
- 5 常任委員会の議長は、委員長又は委員長が指名した者がこれにあたる。
- 6 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、あらかじめ委員長が指名した者がその職務を代理する。
- 7 常任委員会は、次に掲げる事項について審議・決定し、その結果を必要に応じて次の総会に報告する。
  - (1) 総会から委任された事項に関すること。
  - (2) 専門委員会の設置並びに専門委員会への付託事項及び委任事項に関すること。
  - (3) 総会を招集するいとまがない緊急な事項に関すること。
  - (4) その他委員長が必要と認める事項に関すること。
- 8 前条第5項及び第6項の規定は、常任委員会において準用する。
- 9 第8条の規定は、常任委員の任期等について準用する。

（専門委員会）

第13条 専門委員会は、会長が委嘱する専門委員をもって構成する。

- 2 専門委員会は、常任委員会から付託又は委任された事項について調査・審議し、その結果を常任委員会に報告する。
- 3 前2項に定めるもののほか、専門委員会に関し必要な事項は、常任委員会に諮り、会長が別に定める。
- 4 第8条の規定は、専門委員の任期等について準用する。

#### 第4章 会長の専決処分

（会長の専決処分）

- 第14条 会長は、総会及び常任委員会（以下「総会等」という。）を招集するいとまがないとき、又は総会等の権限に属する事項で軽易なものについては、これを専決処分することができる。
- 2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の総会等において報告し、その承認を得なければならない。

#### 第5章 事務局

（事務局）

第15条 準備委員会の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

## 第6章 財務及び会計

### (経費)

第16条 準備委員会の経費は、負担金及びその他の収入をもって充てる。

### (予算及び決算)

第17条 準備委員会の収支予算は、総会の議決により定め、収支決算については、監事の監査を経て、総会の承認を得なければならない。

### (会計年度)

第18条 準備委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。

2 準備委員会の財務及び会計に関し必要な事項は、会長が別に定める。

## 第7章 補則

### (委任)

第19条 この会則に定めるもののほか、準備委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

### (解散)

第20条 準備委員会は、第2条に規定する目的が達成されたとき、総会の議決を経て解散するものとする。

2 準備委員会が解散するときに有する残余財産は、総会の議決を経て処分する。

## 附 則

1 この会則は、平成28年8月31日から施行する。

2 準備委員会の平成28年度における会計年度は、第18条第1項の規定にかかわらず、前項に定める日から、平成29年3月31日までとする。

## 第80回国民体育大会青森県準備委員会委員等名簿(平成30年7月10日現在)

会長 (◎) 1名、副会長 (○) 7名

区分	NO	機関・団体名及び役職
会長	1	◎青森県知事
副会長	1	○青森県議会議長
	2	○青森県副知事
	3	○青森県副知事
	4	○青森県教育委員会教育長
	5	○公益財団法人青森県体育協会会長
	6	○青森県市長会会長
	7	○青森県町村会会長

委員 221名 ※常任委員 (◇) 51名

区分	NO	機関・団体名及び役職
県議会	1	◇青森県議会副議長
	2	◇青森県議会総務企画危機管理委員会委員長
	3	◇青森県議会環境厚生委員会委員長
	4	◇青森県議会農林水産委員会委員長
	5	◇青森県議会商工労働観光エネルギー委員会委員長
	6	◇青森県議会文教公安委員会委員長
	7	◇青森県議会建設委員会委員長
	8	◇青森県スポーツ推進議員連盟会長
県	1	◇青森県病院事業管理者
	2	◇青森県警察本部長
	3	◇青森県総務部長
	4	◇青森県企画政策部長
	5	◇青森県環境生活部長
	6	◇青森県健康福祉部長
	7	◇青森県商工労働部長
	8	◇青森県農林水産部長
	9	◇青森県県土整備部長
	10	◇青森県危機管理局長
	11	◇青森県観光国際戦略局長
	12	◇青森県エネルギー総合対策局長
	13	東青地域県民局長
	14	中南地域県民局長
	15	三八地域県民局長
	16	西北地域県民局長
	17	上北地域県民局長
	18	下北地域県民局長
	19	青森県労働委員会事務局長
	20	青森県議会議事務局長
	21	青森県人事委員会事務局長
	22	青森県監査委員事務局長
	23	青森県東京事務所長
県体協	1	◇公益財団法人青森県体育協会副会長
	2	◇公益財団法人青森県体育協会副会長
	3	◇公益財団法人青森県体育協会副会長

区分	NO	機関・団体名及び役職
県体協	4	◇公益財団法人青森県体育協会副会長
	5	◇公益財団法人青森県体育協会副会長
	6	◇公益財団法人青森県体育協会副会長
	7	◇公益財団法人青森県体育協会副会長
スポーツ	1	◇青森県スポーツ推進審議会会長
	2	◇青森県スポーツ推進委員協議会会長
	3	◇特定非営利活動法人青森県スポーツ・レクリエーション連盟会長
	4	◇特定非営利活動法人青森県障害者スポーツ協会理事長
	5	一般財団法人青森陸上競技協会会長
	6	青森県水泳連盟会長
	7	一般社団法人青森県サッカー協会会長
	8	青森県テニス協会会長
	9	青森県ホッケー協会会長
	10	青森県ボート協会会長
	11	青森県ボクシング連盟会長
	12	青森県バレーボール協会会長
	13	青森県体操協会会長
	14	一般財団法人青森県バスケットボール協会会長
	15	青森県レスリング協会会長
	16	青森県セーリング連盟会長
	17	青森県ウエイトリフティング協会会長
	18	青森県ハンドボール協会会長
	19	青森県自転車競技連盟会長
	20	青森県ソフトテニス連盟会長
	21	青森県卓球連盟会長
	22	青森県軟式野球連盟会長
	23	青森県相撲連盟会長
	24	青森県馬術連盟会長
	25	青森県フェンシング協会会長
	26	青森県柔道連盟会長
	27	青森県ソフトボール協会会長
	28	青森県バドミントン協会会長
	29	青森県弓道連盟会長
	30	青森県ライフル射撃協会会長
	31	青森県剣道連盟会長
	32	青森県ラグビーフットボール協会会長
	33	青森県山岳連盟会長
	34	青森県カヌー協会会長
	35	青森県アーチェリー協会会長
	36	青森県空手道連盟会長
	37	青森県銃剣道連盟会長
	38	青森県クレー射撃協会会長
	39	青森県なぎなた連盟会長
	40	青森県ボウリング連盟会長
	41	青森県ゴルフ連盟理事長
	42	青森県トライアスロン協会会長
	43	青森県高等学校野球連盟会長
	44	一般財団法人青森県スキー連盟会長

区分	NO	機関・団体名及び役職
スポーツ	45	青森県スケート連盟会長
	46	青森県アイスホッケー連盟会長
	47	青森県綱引連盟会長
	48	青森県ゲートボール協会会長
	49	青森県パワーリフティング協会会長
	50	青森県グラウンドゴルフ協会会長
	51	青森県武術太極拳連盟会長
	52	青森県バウンドテニス協会会長
	53	青森県エアロビック連盟会長
	54	青森県スポーツ少年団本部長
	55	青森県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長
市町村議会	1	◇青森県市議会議長会会長
	2	◇青森県町村議会議長会会長
市町村	1	◇青森県市町村教育委員会連絡協議会会長
	2	青森市長
	3	弘前市長
	4	八戸市長
	5	黒石市長
	6	五所川原市長
	7	十和田市長
	8	三沢市長
	9	むつ市長
	10	つがる市長
	11	平川市長
	12	平内町長
	13	今別町長
	14	蓬田村長
	15	外ヶ浜町長
	16	鱒ヶ沢町長
	17	深浦町長
	18	西目屋村長
	19	藤崎町長
	20	大鱒町長
	21	田舎館村長
	22	板柳町長
	23	鶴田町長
	24	中泊町長
	25	野辺地町長
	26	七戸町長
	27	六戸町長
	28	横浜町長
	29	東北町長
	30	六ヶ所村長
	31	おいらせ町長
	32	大間町長
	33	東通村長
	34	風間浦村長
	35	佐井村長

区分	NO	機関・団体名及び役職
市町村	36	三戸町長
	37	五戸町長
	38	田子町長
	39	南部町長
	40	階上町長
	41	新郷村長
学校	1	◇青森県中学校体育連盟会長
	2	◇青森県高等学校体育連盟会長
	3	◇青森県小学校長会会長
	4	◇青森県中学校長会会長
	5	◇青森県高等学校長協会会長
	6	◇青森県私立中学高等学校長協会会長
	7	弘前大学学長
	8	青森県立保健大学学長
	9	青森公立大学学長
	10	青森大学学長
	11	青森中央学院大学学園長
	12	青森明の星短期大学学長
	13	東北女子大学学長
	14	弘前学院大学学長
	15	弘前医療福祉大学学長
	16	八戸学院大学学長
	17	八戸工業大学学長
	18	北里大学獣医学部長
	19	青森県専修学校各種学校連合会会長
国	1	東北運輸局青森運輸支局長
	2	東北地方整備局青森河川国道事務所長
	3	東北地方整備局岩木川ダム統管理事務所長
	4	第二管区海上保安部青森海上保安部長
	5	第二管区海上保安部八戸海上保安部長
	6	仙台管区気象台青森地方気象台長
	7	自衛隊青森地方協力本部長
産業・経済	1	◇青森県商工会議所連合会会長
	2	◇青森県商工会連合会会長
	3	◇青森県中小企業団体中央会会長
	4	◇一般社団法人青森県経営者協会会長
	5	◇青森経済同友会代表幹事
	6	◇公益社団法人日本青年会議所東北地区青森ブロック協議会会長
	7	東北電力株式会社青森支店長
	8	一般社団法人青森県銀行協会会長
	9	青森県信用金庫協会会長
	10	青森県農業協同組合中央会会長
	11	青森県森林組合連合会代表理事会長
	12	青森県漁業協同組合連合会代表理事会長
	13	一般社団法人青森県建設業協会会長
通信・輸送	1	◇公益社団法人青森県バス協会会長
	2	一般社団法人青森県タクシー協会会長
	3	公益社団法人青森県トラック協会会長

区分	NO	機関・団体名及び役職	
通信・輸送	4	ヤマト運輸株式会社青森主管支店長	
	5	東日本電信電話株式会社青森支店長	
	6	日本航空株式会社青森支店長	
	7	全日本空輸株式会社販売事業本部青森営業所長	
	8	株式会社フジドリームエアラインズ青森空港支店長	
	9	東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社長	
	10	東日本旅客鉄道株式会社秋田支社長	
	11	弘南鉄道株式会社代表取締役社長	
	12	津軽鉄道株式会社代表取締役社長	
	13	青い森鉄道株式会社代表取締役社長	
	14	東日本高速道路株式会社東北支社青森管理事務所長	
	15	東日本高速道路株式会社東北支社八戸管理事務所長	
	宿泊・観光	1	◇公益社団法人青森県観光連盟理事長
		2	一般社団法人青森県食品衛生協会会長
		3	公益社団法人青森県栄養士会会長
4		一般社団法人青森県調理師会会長	
5		一般社団法人青森県旅行業協会会長	
6		青森県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長	
医療・福祉	1	◇公益社団法人青森県医師会会長	
	2	◇社会福祉法人青森県社会福祉協議会会長	
	3	一般社団法人青森県歯科医師会会長	
	4	一般社団法人青森県薬剤師会会長	
	5	公益社団法人青森県獣医師会会長	
	6	公益社団法人青森県看護協会会長	
	7	日本赤十字社青森県支部長	
	8	青森県スポーツドクターの会会長	
警備・消防	1	公益財団法人青森県消防協会会長	
	2	公益社団法人青森県防犯協会連合会会長	
	3	一般財団法人青森県交通安全協会会長	
	4	一般社団法人青森県警備業協会会長	
文化・芸術	1	一般社団法人青森県文化振興会議理事長	
	2	青森県立美術館館長	
	3	青森県高等学校文化連盟会長	
社会団体等	1	◇青森県地域婦人団体連合会会長	
	2	青森県PTA連合会会長	
	3	青森県高等学校PTA連合会会長	
	4	青森県私立高等学校保護者会連合会会長	
	5	日本ボーイスカウト青森県連盟連盟長	
	6	一般社団法人ガールスカウト青森県連盟連盟長	
	7	公益財団法人青森県老人クラブ連合会会長	
	8	青少年育成青森県民会議会長	
	9	一般社団法人青森県子ども会育成連合会会長	
	10	公益社団法人青森県緑化推進委員会理事長	

顧問 7 名

区分	NO	機関・団体名及び役職
国会議員	1	衆議院議員
	2	衆議院議員
	3	衆議院議員
	4	衆議院議員
	5	衆議院議員
	6	参議院議員
	7	参議院議員

参与 62 名 (欠員 2 名)

区分	NO	機関・団体名及び役職
県議会 (欠員 2 名)	1	青森県議会議員
	2	青森県議会議員
	3	青森県議会議員
	4	青森県議会議員
	5	青森県議会議員
	6	青森県議会議員
	7	青森県議会議員
	8	青森県議会議員
	9	青森県議会議員
	10	青森県議会議員
	11	青森県議会議員
	12	青森県議会議員
	13	青森県議会議員
	14	青森県議会議員
	15	青森県議会議員
	16	青森県議会議員
	17	青森県議会議員
	18	青森県議会議員
	19	青森県議会議員
	20	青森県議会議員
	21	青森県議会議員
	22	青森県議会議員
	23	青森県議会議員
	24	青森県議会議員
	25	青森県議会議員
	26	青森県議会議員
	27	青森県議会議員
	28	青森県議会議員
	29	青森県議会議員
	30	青森県議会議員
	31	青森県議会議員
	32	青森県議会議員
	33	青森県議会議員
	34	青森県議会議員
	35	青森県議会議員
	36	青森県議会議員
	37	青森県議会議員

区分	NO	機関・団体名及び役職
県議会	38	青森県議会議員
	39	青森県議会議員
	40	青森県議会議員
県	1	青森県教育委員会教育長職務代理者
	2	青森県教育委員会委員
	3	青森県教育委員会委員
	4	青森県教育委員会委員
	5	青森県教育委員会委員
報道	1	株式会社朝日新聞社青森総局長
	2	株式会社毎日新聞社青森支局長
	3	株式会社読売新聞東京本社青森支局長
	4	株式会社産経新聞社青森支局長
	5	株式会社日本経済新聞社青森支局長
	6	一般社団法人共同通信社青森支局長
	7	株式会社時事通信社青森支局長
	8	株式会社東奥日報社代表取締役社長
	9	株式会社陸奥新報社代表取締役社長
	10	株式会社デーリー東北新聞社代表取締役社長
	11	株式会社河北新報社青森総局長
	12	日本放送協会青森放送局長
	13	青森放送株式会社代表取締役社長
	14	株式会社青森テレビ代表取締役社長
	15	青森朝日放送株式会社代表取締役社長
	16	株式会社エフエム青森代表取締役社長
	17	株式会社フジテレビジョン報道局青森支局長

監事3名

区分	NO	機関・団体名及び役職
県	1	青森県会計管理者
市町村	1	青森県市長会事務局長
	2	青森県町村会事務局長

計301名（欠員2名）